西東京市のミライを語るシンポジウム

~ みんなで西東京市の可能性を見つけよう! ~

実施報告書

目次

1	. 開催概	₹要	1
	(1)内容	<u>\$</u>	1
	(2)日時	寺・場所	1
	(3)参加	u者等	1
2	.開催記録		2
	(1)開会	∖ ・ごあいさつ	2
	(2)調査	査結果の報告	4
	(3)西東	東京市 PR 親善大使トーク	6
	(4)パオ	トルディスカッション	8
	(5)市县	長とトーク	9
	(6)ごあ	5いさつ・閉会	10
3	. 来場者ア	ンケート結果	11
	(1)	基本属性	11
	(2)	参加理由・期待していたこと	12
	(3)	シンポジウムの感想	13
	(4)	まちづくりについて	14

1.開催概要

西東京市では、西東京市第2次総合計画(後期基本計画)が令和5年度をもって終了することから、令和6年度からの10年間のまちづくりの方向性を示す西東京市第3次総合計画の策定に取り組んでいます。

これまで、市民意識調査や中学生まちづくりアンケート、企業・団体等ヒアリングなどの各種 調査を行い、西東京市総合計画策定審議会での議論を通じて、計画策定に向けた議論を行ってき ました。

令和4年度は、総合計画の策定に関して幅広い市民の皆様のご意見をお聞きするため、様々な 市民参加の機会を設けることとしております。

本シンポジウムは、そうした市民参加のキックオフイベントとして、西東京市のまちづくりに 関心を持っていただくことを目的として開催しました。

(1)内容

時間	プログラム
13:30 ~ 13:45	開会・ごあいさつ
13:45 ~ 13:55	調査結果の報告
13:55 ~ 14:05	西東京市 PR 親善大使トーク
14:05 ~ 15:05	パネルディスカッション
15:05 ~ 15:15	休憩
15:15 ~ 15:55	市長とトーク
15:55 ~ 16:00	ごあいさつ・閉会

(2)日時・場所

日時 令和4年7月2日(土) 午後1時30分から4時まで

場所 コール田無 多目的ホール

Youtube でのライブ配信を実施。令和5年3月31日までYoutube でアーカイブ配信予定。

(3)参加者等

参加者(来場者) 72人

You tube ライブ配信視聴回数 316回

2. 開催記録

(1)開会・ごあいさつ

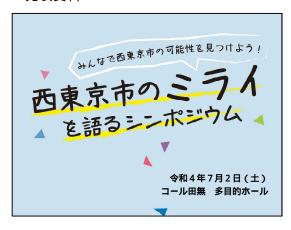
登壇者:伊藤 泰彦 氏(西東京市総合計画策定審議会会長、武蔵野大学工学部教授)

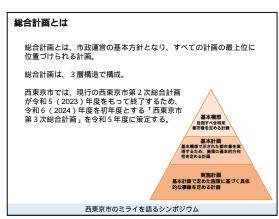
内容: 開会のあいさつ

総合計画及び西東京市についての説明



発表資料





シンポジウムの趣旨

- 第3次総合計画策定のための市民参加のキックオフイベント。
- とこれからの西東京市の可能性について考えていただくとともに、市やまちづくりへの関心を持ってもらう「きっかけ」となることを目的として実施。



一人でも多くの方が今後の市民参加へ

今年度実施する主な市民参加イベント

子どもワークショップ

西東京市のミライを考えよう!!

市民ワークショップ

西東京市のミライを考える「まちづくりワークショップ」

西東京市のミライを語るシンポジウム

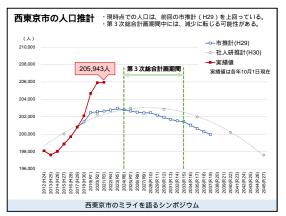
西東京市について

- 平成13(2001)年1月に田無市と保谷市が合併し、21世紀最初に誕生した市
- 人口: 205,869人(令和4年6月1日現在) 面積: 15.75 km²
- 江戸時代に青梅街道の宿場町として栄え、北多摩の商業の中心地として発展した田無市と、同じく江戸時代に武蔵野の新田開発、後に東京の近郊農村として発展した保谷市の2つのまちが1つになって、多摩地域の番目の人口規模を有する市として発展
- 武蔵野台地のほぼ中央にあり、北は埼玉県新座市、南は武蔵野市および小金井市、東は練馬区、西は小平市および東久留米市に隣接
- 西から東になだらかに傾斜したほぼ平坦な地域
- 西武新宿線と西武池袋線(西武有楽町線)の5つの駅があり、急行や準急などを利用すると、 それぞれ新宿、池袋まで約20分-30分の範囲で 通動できる便利なまち



西東京市のミライを語るシンポジウム





西東京市第3次総合計画策定のための基本方針 ~これからのまちづくりに求められる基本的な視点~

【6つの視点】

地域への「誇りや愛着」を育む ~ たから ~ 一人ひとりが「自分らしく」 生きることができる **~らしさ~**

互いの「つながり」 によりささえあう **~ つながり** ~

楽しみや「いきがい」を見出せる **~いきがい~**

変化や危機に「柔軟」に対応する ~ **そなえ** ~ 「次世代」につなげる **~ みらい~**

西東京市のミライを語るシンポジウム

西東京市第3次総合計画策定のための基本方針 ~総合計画策定における市民参加の重要性~

多様な世代や立場の人との関わり

つながりや関係づくりを重視した 市民参加プロセスによる参加機会の拡大

学びや気づきを得られ、 主体的な参加につながる仕組みづくり

みなさん一人ひとりの地域に対する思いが とても大切です!

一緒に西東京市のミライについて考えて いきましょう!

西東京市のミライを語るシンポジウム

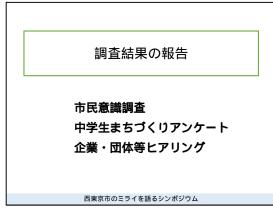
(2)調査結果の報告

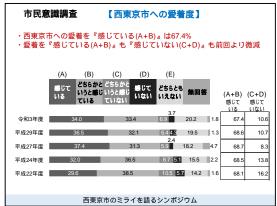
登壇者:佐々木 亮翔 氏(西東京市総合計画策定審議会委員)

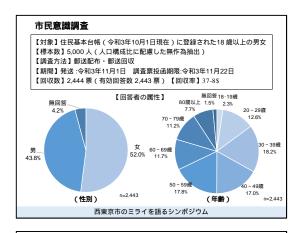
内 容:調査結果の報告

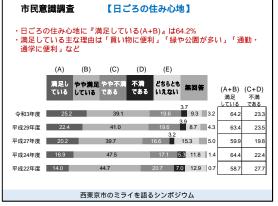


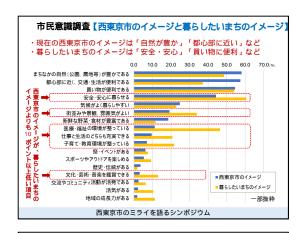
発表資料

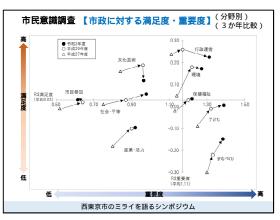










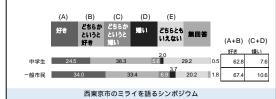


中学生まちづくりアンケート

【対象】市内公立中学校(9校)に在籍する2年生 【調査方法】学校での配布・回収 【期間】令和3年12月に学校ごとに実施

【西東京市への愛着度】

- 西東京市を『好き(A+B)』は62.8% 『好き(A+B)』『嫌い(C+D)』ともに市民意識調査を下回る



中学生まちづくりアンケート

西東京市はどんなまちになっていてほしいですか】

No.1 **自然が多い**(151件)

No.2 お店が充実 (115件)

No.3 住みやすい・過ごしやすい (105件)

No.4 都会・栄えている(102件)

No.5 **きれい**(84件)

西東京市のミライを語るシンポジウム

企業・団体等ヒアリング

(2) 今後のまちづくりの改善案・アイディアについて

- ・身近な学校を単位とした地域づくりを行い、地域に参加し やすい環境を作る。
- ・多種多様な人々が参加出来るイベントの企画・開催。 ・地域活動の担い手やコーディネーターとなる市民の発掘・育 成。

(3)行政や他企業・団体との連携について

- ・若い人が活動に参加できる方法を考える必要がある。
- ・イベントなどを通して地域とつながり、多世代が交流できる 機会を持ちたい。
- ・団体同士をネットワーク化し、課題やアイデアを共有したい。

西東京市のミライを語るシンポジウム

中学生まちづくりアンケート

【好きなところ・自慢できるもの

・大事に残していきたいもの】(トップ3)

No.1 祭り・行事 (275件)

No.2 **自然・緑**(215件)

No.3 交通利便性 (213件)

【嫌いなところ・変えたいところ】(トップ3)

No.1 娯楽施設 (272件)

No.2 道路状況 (265件)

No.3 学校・公共施設 (158件)

西東京市のミライを語るシンポジウム

企業・団体等ヒアリング

【実施概要】

現行計画の6つのまちづくりの方向ごとに、関連する60の企業・団体等を対象に令和4年2月~3月にアンケート・ヒアリング等を実施。

(1) 西東京市の強み・弱みについて

< 強み>

- ・畑や公園などの緑が身近にある。 ・駅が5つあり、都心へのアクセスが良い。 ・市民活動が活発である。

<弱み>

- ・市の魅力や活動など、外部への情報発信が不足している。
- ・活動に使用する施設や設備が不足している。
- ・団体や事業者同士の連携が不十分である。

西東京市のミライを語るシンポジウム

(3) 西東京市 PR 親善大使トーク

出演者:完熟フレッシュ(西東京市 PR 親善大使) 内容:「西東京市の好きなところベスト3」の発表

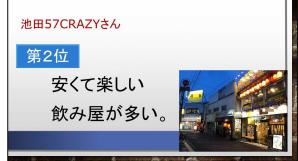


発表資料

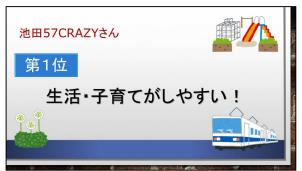




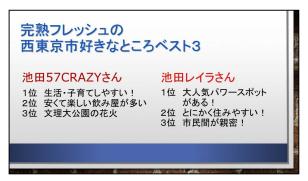












(4)パネルディスカッション

進行:小松 真弓 氏(西東京市総合計画策定審議会委員)

パネリスト:生田 哲也 氏(フォトグラファー・ビデオグラファー)

下田 将人 氏(向台農知園園主)

荘 祐紀子 氏(ぽくるーむ副代表)

中村 晋也 氏(ヤギサワベース代表)

星 竜也 氏(レインボーコミュニティ西東京会長)

山本 泰嗣 氏((株)帆翔代表取締役)

内容: 活動紹介

意見交換

- ・西東京市で活動(事業)をしていて良かったこと、うまくいったこと
- ・西東京市が若い世代がより活躍できるまちになるために必要なこと
- ・これからの若い世代に期待していること
- ・このさき西東京市がどんなまちになっていってほしいか



(5)市長とトーク

登壇者:池澤 隆史 氏(西東京市長)

岡田 琴里 氏(稲門進学ゼミナール塾長)

小山 奈緒 氏(大学生)

畠山 恭輔 氏(大学生)

山嵜 海 氏(大学生)

六反田 菜都実 氏(シンガーソングライター・ダンサー)

内容: 自己紹介

トーク

- ・パネルディスカッションを聞いて感じたこと
- ・西東京市の印象
- ・市長に聞いてみたいこと
- ・西東京市への想い



(6)ごあいさつ・閉会

登壇者:伊藤 一雄 氏(西東京市総合計画策定審議会副会長)

内容: 閉会のあいさつ

今後の市民参加について



3.来場者アンケート結果

今後の第3次総合計画策定に向けた検討の参考とするため、本シンポジウムの来場者及びライブ配信視聴者にアンケート調査を実施しました。

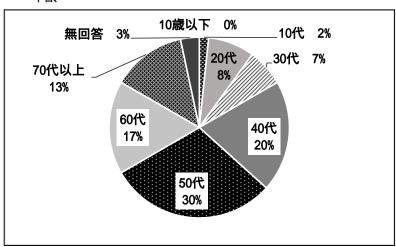
来場者アンケートの回収数は 59 (回収率:81.9%)で、ライブ配信視聴者からのアンケートの 提出数は1でした。 アーカイブ配信視聴者のアンケートは含んでおりません。

アンケートの集計結果は、以下のとおりです。

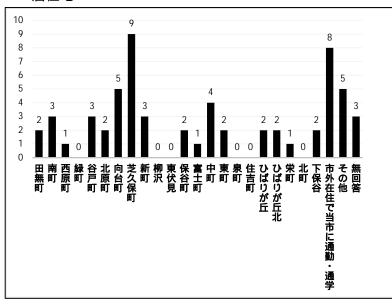
- <調査結果に関する留意事項>
- ・本調査の本文・表・グラフは、小数点以下第2位を四捨五入して端数処理を行っているため、 各回答の割合の合計が100%にならない場合や、内訳の合計値が表示されている値の合計と一 致しない場合があります。
- ・複数回答の設問では、各回答の割合の合計が100%にならない場合があります。

(1)基本属性

年齡



居住地



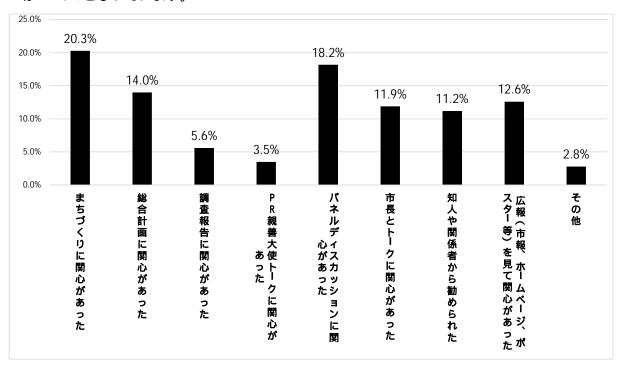
その他

- ・中野区 (1名)
- ・三鷹市(1名)
- ・無回答(3名)

(2)参加理由・期待していたこと

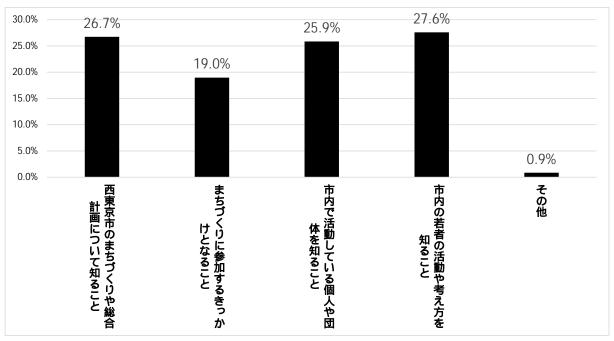
シンポジウムへの参加理由

シンポジウムへの参加理由を聞いたところ、「まちづくりに関心があった」が20.3%で最も多く、次いで「パネルディスカッションに関心があった」が18.2%、「総合計画に関心があった」が14.0%となっています。



シンポジウムに期待していたこと

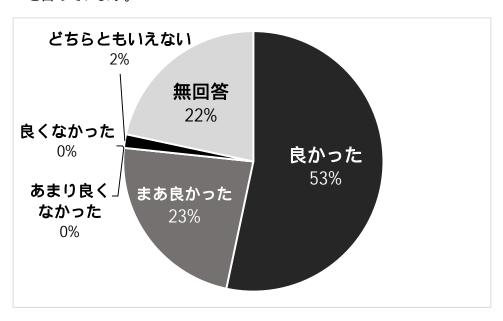
シンポジウムに期待していたことを聞いたところ、「市内の若者の活動や考え方を知ること」が27.6%で最も多くなっています。そのほか、「西東京市のまちづくりや総合計画について知ること」が26.7%、「市内で活動している個人や団体を知ること」が25.9%となっています。



(3)シンポジウムの感想

シンポジウムに参加した感想

シンポジウムに参加した感想を聞いたところ、「良かった」が53%、「まあ良かった」が23%となっており、「良かった」と回答した人と「まあ良かった」と回答した人の合計は全体の76%を占めています。



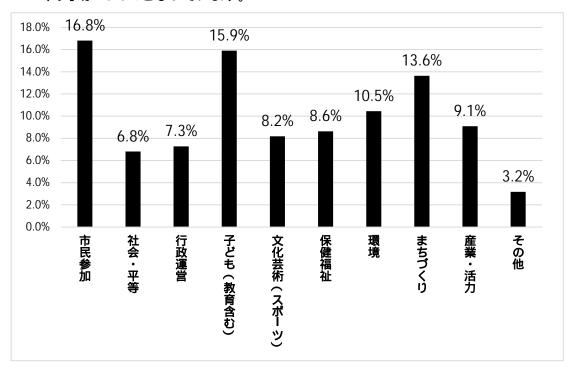
自由意見(主な意見)

- ・パネリストの皆様は、すでに西東京市への思いを持って日々生活し、仕事をされ、これからの西東京のミライに力強さを感じた。異年齢の交流が楽しい中で行われ、自然な情報交換の場になればと思う。市長と次世代を担う方々とのトークも活発なご発言で大変良い機会になり、このような場がこれからもあると良い。
- ・今回のような会を、分散型、各地域、学校で開催していくようなインクルーシブな取組み を期待したい。

(4) まちづくりについて

まちづくりで重要な分野

10 年後のまちの姿を想像する上で、西東京市のまちづくりで重要な分野を聞いたところ、「市民参加」が 16.8%と最も多くなっています。次いで、「子ども(教育含む)」が 15.9%、「まちづくり」が 13.6%となっています。



自由意見(主な意見)

<市民参加>

- ・市民主体のまちづくりの仕組みをつくるには、地域にしっかりとしたコミュニティを再構 築する。
- ・まちづくりに関する市民の声が、アクティブ型市民の声は活発に発言されるが、そうでは ない声をどこまで拾えるかで、まちづくりへの結果が変わると思う。
- ・自分のまちに興味があるけど、何をしたら良いのかわからない、情報取得の方法を知らな い、という人が多い気がする。
- ・多世代がまちづくりに関わっていくためには単に楽しむイベントがあるだけでは、その先につながりにくいので、しかけが必要だと思う。また、人材がつながったり、育つ環境づくりが必要。そのような働きをするコーディネーター的存在の人材も多く増えていくための取組みがあると嬉しい。

<子ども>

- ・子どもたちが自分たちのためのまちづくりにするために、子どもたちを含む市民参加型の まちづくりを進めてほしい。また西東京市はそれぞれの地域で市民活動が行われているよ うなのでそういった地域の連携などもあると良い。
- ・子どもが子ども時代に「楽しかった」と思うことが1つでも多く体験できることが、その

後の人生の豊かさにつながる。

- ・子育てがしやすい、子どもに優しい、子育て世代が西東京市に住みたいと思えるまちにす るのが重要。
- ・あらゆることの基盤を成すのは教育であり、それを育む教育環境づくりが大切。
- ・「安心・安全なまち」をイメージしたとき、防災への取組みは不可欠。子どもたちにも多世 代との交流を経験してもらいながら、防災のことにも興味をもってもらえる交流が作って いけたら良い。
- ・今現在の良いところを認識し、良いところを残していってほしい。子育てしやすいまち、 子どもが笑顔でいられたら、その親も笑顔でいられるので、子どもを中心に考えてほしい。

<まちづくり>

- ・他市からも「住んでみたい」と思われるまち。
- ・住み続けたいまちランキング上位となるような一人一人が住んでいて良かったと思えるま ち。
- ・人と人とのつながりを大切にできるまち。一人一人の尊厳を大事にするまち。
- ・みんながいきいきと楽しめるまち。
- ・ベッドタウンとして、帰ってきたいまち。市民が気楽に集ってお互いを尊重しながら議論 ができる場があるようなまち。
- ・心の安心を感じられるまち。
- ・コロナ禍の2年半の産業商業の停滞を盛り返しているような活動のあるまち。
- ・若い層とともに60歳以上もまちの中心であり、多層的に躍進するまち。

< その他 >

- ・「健康」は欠かせないポイント。運動の機会を増やし、健康寿命を伸ばす・人との繋がりを 作る 地域活性 医療費削減。子どもに明るい未来を残すために健康でいるということに フォーカスしていくことを進めてほしい。
- ・もっと西東京市をアピールしてほしい。
- ・政策・施策でトレンドを追いかけ過ぎず、お金の配分をしっかりと考えたインフラ整備、 教育、福祉の施策を期待する。

西東京市のミライを語るシンポジウム アンケート

~ご協力をお願いします~

本日の「西東京市のミライを語るシンポジウム」にご参加いただいたご感想をお聞かせください。

みなさまからいただいた貴重なご意見は、第3次総合計画策定に向けた検討の なかで参考とさせていただきます。

問1	:あなた	白身	- 関	てお見	bbl	ます
	. 001412	H 37 1	- ほし	しのき	それみし	A 9 0

〇年齢 _____歳代

〇お住まいの地域



							-
1. 田無町	2. 南町	3. 西原町	4. 緑町	5. 谷戸町	6. 北原町	7. 向台町	
8. 芝久保町	9. 新町	10. 柳沢	11. 東伏見	12. 保谷町	13. 富士町	14. 中町	
15. 東町	16. 泉町	17. 住吉町	18. ひばりが.	丘 19. ひ!	ずりが丘北	20. 栄町	
21. 北町	22. 下保谷	23. 市外在住	で当市に通勤	通学 24. その	の他()	

■ 問2:シンポジウムに参加された理由をお聞かせください。(複数回答可)

- 1. まちづくりに関心があった 2. 総合計画に関心があった 3. 調査報告に関心があった 4. PR親善大使トークに関心があった 5. パネルディスカッションに関心があった 6. 市長とトークに関心があった 7. 知人や関係者から勧められた 8. 広報(市報、ホームページ、ポスター等)を見て関心があった 9. その他(
- 問3:本日のシンポジウムに、どのようなことを期待していましたか。(複数回答可)
 - 1. 西東京市のまちづくりや総合計画について知ること
 - 2. まちづくりに参加するきっかけとなること
 - 3. 市内で活動している個人や団体を知ること
 - 4. 市内の若者の活動や考え方を知ること
 - 5. その他(
- 問4:本日のシンポジウムに参加した感想をお聞かせください。(全体として)
 - 1. 良かった 2. まあ良かった 3. あまり良くなかった 4. 良くなかった 5. どちらともいえない
- 問5:西東京市のまちづくり(10年後のまちの姿を想像する上)で重要な分野は、どの分野だと お考えでしょうか。(複数回答可)

10. その他()

~裏面に続きます~

(裏面>	
■ 問6: 問5で選んだ分野の具体的な内容や、10年後、西東京市はどんなまちになっていかについて、ご自由にお書きください。(自由回答)	こいてほし
■ 問7:西東京市第3次総合計画策定に対するご意見、現状のまちづくりにおける課題・	や改善点、
今後重視すべき取組などについてのお考えをお聞かせください。(自由回答)	

アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

西東京市のミライを語るシンポジウム アーカイブ配信アンケート集計結果

1.アーカイブ配信について

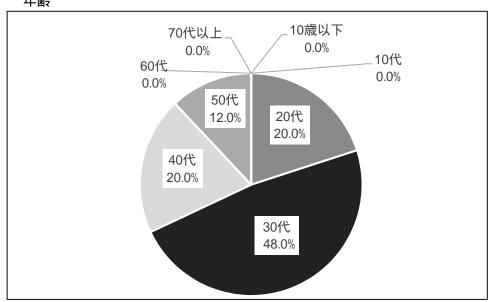
令和4年7月2日に実施した「西東京市のミライを語るシンポジウム」について、当日来場または Live 配信の視聴が出来なかった方にも広くシンポジウムを視聴していただくことを目的として、令和4年7 月7日から Youtube においてアーカイブ配信を実施しました(令和5年3月31日まで公開予定。)。

また、アーカイブ配信を視聴された方に対し、令和4年8月31日までの間でオンラインでのアンケー トを実施し、25件の回答がありました。

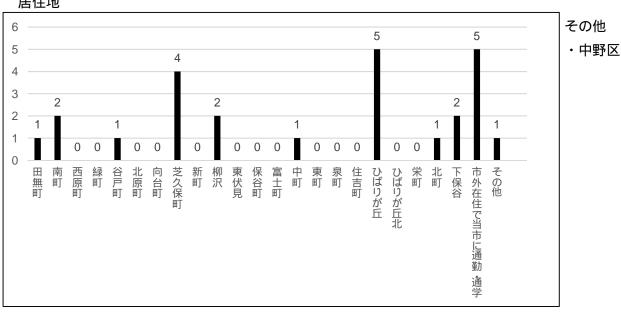
2.アーカイブ配信アンケート結果(回答数:25)

(1)基本属性

年齢



居住地

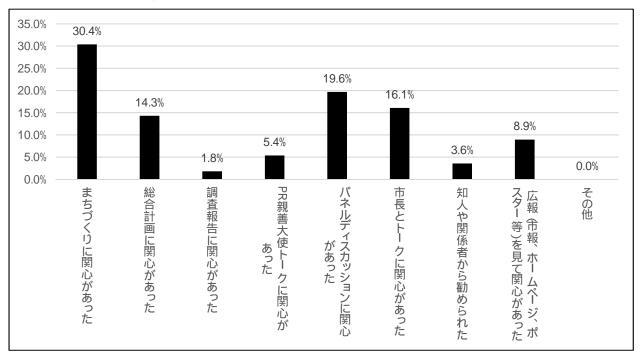


1

(2)シンポジウムについて

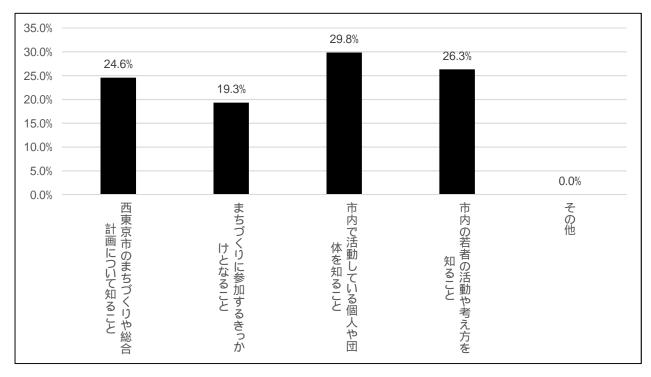
シンポジウムへの参加理由

シンポジウムへの参加理由を聞いたところ、「まちづくりに関心があった」が 30.4%で最も多く、次いで「パネルディスカッションに関心があった」が 19.6%、「市長とトークに関心があった」が 16.1%となっています。



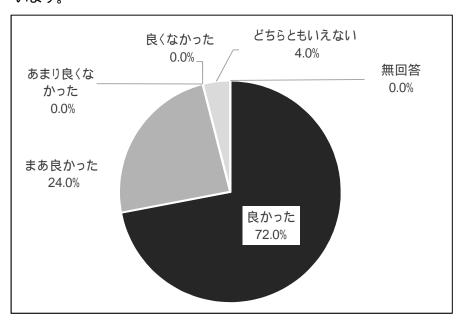
シンポジウムに期待していたこと

シンポジウムに期待していたことを聞いたところ、「市内で活動している個人や団体を知ること」が 29.8%で最も多くなっています。そのほか、「市内の若者の活動や考え方を知ること」が 26.3%、「西東京市のまちづくりや総合計画について知ること」が 24.6%となっています。



シンポジウムを視聴した感想

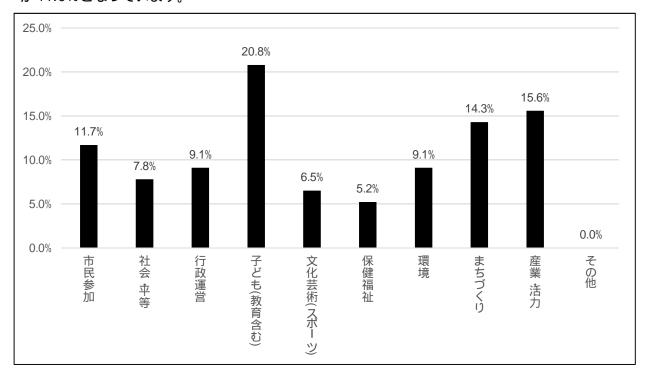
シンポジウムを視聴した感想を聞いたところ、「良かった」が 72%、「まあ良かった」が 24%となっており、「良かった」と回答した人と「まあ良かった」と回答した人の合計は全体の 96%を占めています。



(3) まちづくりについて

まちづくりで重要な分野

10年後のまちの姿を想像する上で、西東京市のまちづくりで重要な分野を聞いたところ、「子ども(教育含む)」が20.8%と最も多くなっています。次いで、「産業・活力」が15.6%、「まちづくり」が14.3%となっています。



自由意見(主な意見)

<子ども>

- ・子どもがのびのび成長できるまち。
- ・少子高齢化が進展する中で、子どもたちが暮らしやすく誇りの持てるまち。
- ・子どもが遊べる公園や学習できる所などの居場所が充実したまち。
- ・子育てしやすい街=誰もが住みやすいまち。
- ・財政難の中でどの事業を選択していくかが課題。未来を担う子どもの施策が重要だと思う。
- ・計画策定に労力をかけるのではなく、事業の創意工夫に注力して欲しい。市民の意見はアンケート調査以外、一部のノイジーマイノリティの人の考えが汲み取られる可能性が危惧される。取り組みとしては、市長公約でもある子どもがど真ん中を軸に子供施策を充実させて欲しい。

<産業・活力>

- ・市民と大学、市民と企業が交流し、誰でもいつでも学びや体験活動ができるまち。
- ・単なる都心へのベッドタウンではなく、商業、産業の活気に溢れ、緑豊かなまち。

<まちづくり>

- ・他市に誇れる目玉となる施設があるとよい。
- ・行政サービスを各地域で受けられるような環境づくりをしてほしい。

<市民参加>

- ・子どもから大人まで、まちのことを知るきっかけとなるようなイベントが増えると、まちづくり に関心を持つ人が増えるのではないでしょうか。
- ・市民全員が、市を良くしようという思いを持ち一体となって、自らが様々な取組に参加できる風 土のまち。